

北海之光

1月号 北海道教区報

わたしがここにおります
 わたしを遣わしてください
 イザヤ書6章8節

発行所 北海の光社
 001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12
 日本聖公会北海道教区事務所
 電話 011-717-8181
 F A X 011-736-8377
 E-mail:hikari@nsskk-hokkaido.jp
 http://www.nsskk-hokkaido.jp
 発行人 植松 誠

わたしがここにおります

主教 ナタナエル 植松 誠



「罪に苦しむ 叫びを聞いた わたしは民を救おう 闇の世界を 照らし輝く 神の光を伝えよ」。これは日本聖公会聖歌集の二八二番の一節です。この聖歌は、英国では最も好まれて歌われている聖歌の一つです。実際、私もラ・ベス会議などに行った際、大勢の会衆が高らかに歌う声に感動したことを覚えています。日本聖公会の教会でもこの聖歌を好きだという方は多いのではないのでしょうか。

はるかにダイナミックです。それは、一節目の最後に、「闇の世界に誰が光をもたらすか。誰を私は遣わすべきか」と神が問いかけ、それに対して、おろかえしで「私がここにおります。主よ、それは私です。私はあなたの呼びかけを聞きました」という応答が歌われます。「私がここにおります」という言葉で繰り返される「おろかえし」に、私は魂を揺さぶられるような感動を覚えたのです。残念ながら、日本語の歌詞「あなたに呼ばれて、わたしは歩みます」

では、この力強さは十分に表せていません。今年の北海道教区年間宣教標語、「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください」は旧約聖書のイザヤ書六章八節の聖句です。神様の「誰を遣わすべきか」という問いに、二〇歳くらいのイザヤが応えた言葉です。旧約聖書では、神から召しを受けた預言者や指導者が、いろいろ理由をつけてそれを断る話も出てきます。エジプトで奴隷となっていた民をイスラエルに導き帰れと神に言われたモーセは、「私はいったい何者でしょう(たいした者ではありません)。私ははくちべたです。どうぞ、誰か他の人を見つけて遣わしてください」と必死に抵抗します。エレミヤも、神の召しに

対して、「私は語るべき言葉を知らないし、第一、私は若すぎます」と言います。預言者ヨナは、ニネベに行けという神の命令に反して、別の町に逃げて行こうとします。しかし、そのような人々の「私にはできません。私にはできません。自信がありません。誰か他の人に頼んでください」というしりごみは、往々にして、私たちの心の中の正直な思いです。ところが、これらの預言者たちは、その後、皆、立派に神様から与えられた使命を果たしていくのです。もちろん、私たちに十分な知識や能力、勇気や確信があるわけではありません。しかし、そのことを神様はご存知で、それでも、私たちをお用いになるのです。

第二世紀宣教 二〇一八年

わたしがここにおります

わたしを遣わしてください

イザヤ書 六章八節

日本聖公会北海道教区

北海の光701号

教諭 富所千加 書 (岩見沢聖十字幼稚園)

今年、私たちは、思い切つて、「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください」と言ってみませんか。

インマヌエル、「神、我らと共にいます」。



—心の窓をひらく—
福音と私(二二二)



札幌キリスト教会信徒

ヨハネ 竹花 千明

好きな聖句

体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分の数は多くても、体は一つでもあるように、キリストの場合も同様である。

(コリントの信徒への手紙一 二二章二節)

私は一九六三年に旭川で、聖公会信徒の両親のもとに生まれました。子どもの頃は信徒の祖母との四人暮らしでした。父は全く目が見えず、母は手を中心に、肢体不自由な所は、ありました。子どもは私から見ても皆、穏やかであつたため、素朴で平和な家でした。母は祖母や父を立て、祖母も両親を尊重し、特に父は優しく、人を悪く言うのを嫌い、六〇歳で、上顎癌を患つて、亡くなるまで、怒られた

—今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか—

のは、たった一度だけでした。

それは私の我ままで、好きなテレビヒーローものを観ている、肝心なところで、急に映りが悪くなった途端、私は、テレビを叩きながら大声を発し、テレビ局の人達を殺したいような事を言ったので、すぐさま、人の命の尊さを諭されたものでした。

その分、母はしつげに厳しく、よく怒られ泣いては、父の膝の上に逃げる私は甘えん坊でした。その忘れられない出来事が、人への思いやりの芽生えと今も信じています。

そのかわり、小学校六年の一月に、最愛の父が亡くなったせい、思春期に差し掛かった自分は、あるうにか、母に当たってしまい、しばらくは反抗していました。

私は次第に力がつく年頃、母は益々小さく見えてゆくばかり、けれども、どんなに反抗しても、常に真正面から受けとめ、一度も背中を向けない強い母に数年の後、これ以上ない母の愛情を知るとともに自分がはずかしくなり、落ち着いた時は、高校入学で札幌の高等盲学校に出てくる頃でした。(現在の視覚支援学校)

それでも、その心の中しこりは消えることはなく、今でも、懺悔の思いを胸に教会に通っています。

実は偶然にも阿部恵子先生から、原稿をお願いされる少し前に読んだ本の中に、「愛」をテーマにした箇所を見つけ、そこにはコリントの第一の手紙一三章の『愛は寛容で—』で始まる愛の定義の他に真の愛、偽りの愛等の解説がありました。真の愛は主から受ける渇くことのないもの、偽りの愛は感情に左右されたり束縛や期待からの失望等によって渇くものとありました。また親は子どもに本当の愛には責任や尊重がある事を教え続け、ひととき燃えあ

がる情動との違いを、それらと比較しながら伝えなければならぬ事を、学び進めるうちに、先に綴った子どもの頃からの、心のしこりをえぐられる思いが再び現れ、私自身、苦しいのですが、ここに母の無条件の本当の愛への感謝を表したい気持ちにかられた時、その依頼があつたので少し驚いています。ちなみに主の無条件の愛こそ真の愛で、それを、「恵み」というのだそうです。

最後に「好きな聖句」についてお話しします。

結論から言えば、そのみことばには私自身の居場所を感じるからです。それは、たとえ髪の毛一本でも主と共にいる事、大好きな人達と共存し小さな力でも助け合う事を喜びとする句だからです。

今度は母が二〇〇二年に亡くなった頃、再び教会に足を向ける様になりました。自営のマッサージ業も五年目に差し掛かり、忙しい中での急死でした。子どもの頃の劣等を取りもどすべく仕事に励み、父と同業であつたため母にも

喜んでもらいたい気持ちと修行時代の競争がいつしか数字だけ追い求めた時、どこか教会の交わりとは疎遠な様でした。やがて多くに自信を無くした時に、私は再び教会にもどされたのでした。母の死で仕事だけを居場所と思つていた私は、きつと渴望していたのです。

今は教友の皆さんからそそがれる泉の様な愛情のお陰で、仕事も以前の技のみせつけから受け手の体や心の声にも少しは向き合う様になつたと思います。それでも壁にあたるたびに自信をなくす私を強めてくれる言葉のある方から最近いただきました。それは、こうです。主にひざまづいていると人につまづかなくなるという事です。主による事、一つの体」になり、同じ十字架の基、いつまでも皆さんと渇く事ない泉に浸りたいと思います。どうか人の思いが主の前にくだかれ一つの体となりますように祈ります。

祈ります。

祈ります。

祈ります。

感謝 北海の光献金(敬称略)

常置委員会報告

第二回(二月一九日)

《協議事項》

一、第七六(定期) 教区会の振り返りの件
 ・日程を一日にした事に関して、議事運営上特段の支障

は無かった。今後、二日間とする必要性・必然性があれば、その可能性を検討する事とした。
 二、会計監査委員指名の件
 ・能登裕さん(札キ)、木島嘉子さん(ミカエル)を指名する事とした。
 三、新教区会期の常置委員会が選任する各委員長・部長選任の件
 ・所定の委員長と部長の選任を行った。
 四、三浦千晴聖職候補生志願者の神学校受験の件
 ・四月からの入学を予定し、

大野和哥子(宝塚市)
 山影 静子(大阪市)



主教室より

私の母が昨年二月二六日、九四歳で天に召されました。二月には父が召され、同じ年に母が召されたという事を、私たちは神様のみ旨と信じて感謝しています。

昨年二月、母から誕生日のカードを受け取りました。「愛する息子まことへ。お誕生日おめでとうございませす。パパは一〇〇歳を突き抜け、あなたは六五歳で、なんと七〇歳に向かっているのですね。昔、私たち家族が過ごした清里聖アンデレ教会の一部屋、その部屋の中に、朝まで置いたあなたのおむつは、カチカチに凍っていました。実に可愛

い可愛い、いい顔をしていた坊や、まことよ。月日はどんどん移り変わります。そして、父と子と聖霊の主は、永遠に変わることなくほめたたえられ、私たちは、ハレルヤ、アーメンと喜びあふれます」。

昨年一月末、大阪の入院先に母を訪ねました。もうベッドに横たわったままでしたが、翌日が東京で聖徒アンデレ同胞会(BSA)の創立九〇周年の礼拝があり、私がそこで説教をすることを知っていた母は、私に、「BSAのモットーは使徒聖アンデレのように、『一人が一人を』イエスのもとに連れてくる、ということだけれど、それはとてもむずかしい。それより

も、毎主日、教会の礼拝に来て、十字架の前でひざまずき、ひれ伏して、涙ながらにイエス様の御体と御血をいただくことの方がもっと大事で、それで十分だと私は思う」と言いました。そして、帰りに病床聖餐式をすると、母は陪餐しながら、「ああ、ありがたい」と涙を流し、「みさかえは神にあれ」と歌いだしました。

母の生前からの願いで、葬送式では家族と参列した方々が、母を囲んで、キリストの尊い聖餐に与かりました。死で終わるのではなく、復活の命に生きる私たち。何という祝福でしょう。みさかえは神にあれ。
 主教 ナタナエル 植松 誠

受験に伴う費用は、教区より支出する事とした。
 五、二〇一八年教区礼拝の日時、場所の件
 ・日時：五月一九日(土) 場所：札幌キリスト教会 実行委員長：津田武典さんを選任した。
 六、「出会いと交わりの日」
 ・二〇一八年も引き続き実施する事とした。
 ・実施日六月二七日(日)とする。
 七、稚内聖公会・厚岸聖オーガスチン教会の件
 ・現況について報告を受け、二〇一八年度の課題について話し合った。
 八、教区事務所職員人事について協議した。
 九、次回常置委員会日時
 ・二〇一八年一月一日(木) 一三時より

堅信式受領 おめでとう

新札幌聖ニコラス教会
 パウロ 新井田 淳也
 一二月三日

十 教区逝去教役者 記念聖餐式

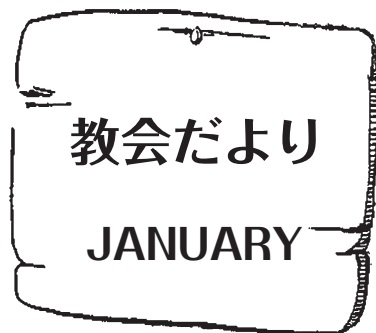
二月二三日(火)

午前一〇時三〇分 於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

- 執事 桑山 隆
- 司祭 二〇一三年二月二日
- 司祭 ハリー・W・ハンセン
- 司祭 長 澤義正
- 司祭 一九九六年二月八日
- 伝道医師 ウイリアム・ウリス
- ロイ・コルバン
- 司祭 一九一五年二月二〇日
- 司祭 向井山 雄
- 一九六一年二月二四日
- 伝道師 田村 均
- 一九七八年二月二六日

- 札幌キリスト教会
- マリア 柴田 利恵
- マリヤ 津野 聖美
- 一二月一四日
- 釧路聖パウロ教会
- テモテ 前谷 典弘
- ルツ 氏家 節子
- ダビデ 飯沼 勇一
- 一二月二五日



▽厚岸聖オーガスチン教会

一二月は二四日、植松主教様を迎えてのクリスマス礼拝をいたしました。思えば植松主教様が北海道教区主教に就任のきっかけとなったのは、この厚岸での礼拝でありました。感慨深い心に残る礼拝でありました。当日は、地域の方々お二人、釧路聖パウロ教会よりの有志を含めて一人名での礼拝でした。祝会は、牡蠣飯とあさり汁という定番、名品を分かち合いました。この礼拝をもち、公的な礼拝は終わりますが、今後の厚岸の地での福音宣教を覚えてお祈り下さいますように。

▽釧路聖パウロ教会

今年のクリスマス礼拝は、

植松主教様が来会しました。二三日帯広聖公会での礼拝後、二四日厚岸のミサ、そのまま釧路に戻り、イブ礼拝、翌日ミサ・堅信式と。厚岸でのミサの間は、春田佳恵さんが言葉の礼拝の司式・お勧めで、お勧め後、拍手が出たとか。イブ礼拝は五一名。釧路新聞と道新が取材に来、翌

日記事に。翌日は、三人の堅信式(ダビデ飯沼勇一さん、ルカ氏家節子さん、テモテ前谷典弘さん)が行われ、教会全体が喜びの渦に。新委員に荒井めぐみさん、新代議員に前田博美さんが選出されました。

▽有珠聖公会

一二月一六日、主日聖餐式。今年で五回目となるクリスマス・コンサート。今回は、チェリストの土田英順さんを

迎え、東日本大震災被災者支援のチャリティーコンサートとして開催、今回の有珠聖公会での開催で通算三八一回目だそうです。津波で犠牲となられた女性が用いておられた被災チェロから響く深い陰影

のある音色が、礼拝堂を満場にした一二〇名の聴衆の胸を打ちました。

二三日、クリスマス・イブのキャンドルサービス。信徒に加え、普段交わりのある地域の方々二五名で祝いました。

▽岩見沢聖十字教会

一二月を迎え、教会も幼稚園も徐々にクリスマスの雰囲気。園では聖誕劇と祝賀会の出し物に、園児達は一生懸命に練習。本番ではどの子も「やり切った!」という充実した表情。頑張りに保護者も教師も感動に包まれる。

二四日、横山明光司祭司式によるクリスマス礼拝。幼稚園職員、教会員の知り合いなど、内外から多くの方が出席。真のクリスマスを心から祝う。

今年の宣教標語聖句イザヤ書六章八節は、富所千加教諭による筆字。職員室に貼り出して毎朝、み言葉に触れる。

▽小樽聖公会

小樽も例年より早く根雪になり、降雪も多く感じられます。

す。しばらく空き家だった教会隣地の所有者が変わり、除雪範囲が少なくなるも回数は増えたように感じています。

クリスマス礼拝は二四日に行われ、続いて祝会がもたれました。ビンゴ大会、バイオリンとオルガンでの演奏も。午後五時からは教会玄関前にスノーキャンドルも並べられてキャンドルサービス、二五日は降誕日聖餐式をお捧げしました。永谷司祭は三月まで月に一度帯広聖公会へ主日礼拝奉仕に。教会では信徒が協力しあつてみ言葉の礼拝をお捧げしています。

▽苫小牧聖ルカ教会

一三日、映画「マリア」の上映会が行われました。マリアとヨセフがナザレからベツレヘムまで旅をするクリスマスを描いた映画です。

二四日クリスマス礼拝の後、幼稚園ホールにてイエスさまの誕生をお祝いしました。五四名で行われた現存幼稚園最後の祝会です。

イブ礼拝は二五名が集まりました。ホワイトならぬ雨と

強風の聖夜でした。黒猫ノワールの見下ろす庭に、鹿や星のイルミネーションがきらめき、日中は建設工事の音が賑々しく、格別の感情。

▽函館聖ヨハネ教会

例年がない大雪。やっと晴れたある日の会話。「今日は久しぶりに暖かいね」「これが平年並みらしいよ」。三日映画マリアで降臨節学ぶ。九日少年刑務所でクリスマスの喜び共に。一〇日恒例の英国クリスマスキャロル礼拝鑑賞。教会信徒による文集「花みずき」記念すべき第五〇号。二三、二四日セントジョンズバー一七〇名近い来客。ホットワインの色と香りに酔いしれ、その後キャンドルサービス、ロウソク近くてヤケドする。二六日未明、イエス様? 違います、藤井司祭に一人目の孫誕生。

▽稚内聖公会

一二月一七日クリスマス礼拝。深川から石坂みち子司祭、旭川から牧師に同行して久末隼一さん、広谷栄子さんの四名が稚内へ。当初車で行く予

定を猛吹雪が予想されること

から急遽「特急宗谷」に切り替える。今年整形の大手術をした

本原さん、退院四カ月を経て、順調に回復。礼拝後のお祝い会。まずは上等のワインで乾杯。『北海の光』用に撮った乾杯の写真、上出来であつたのに、今年は掲載予定なしとのことだがっかり！悲喜こもごもの一年を振り返り一足早いクリスマスを祝った。

▽平取聖公会
この冬は早くからの寒さと雪で早い根雪となりましたが、その後融けて雪の少ないお正月でした。保育園の園庭で除雪した雪で作る築山でのそり遊びができるか心配です。

クリスマスを迎えて送る一二月が過ぎ、今月末の信徒総会に向け教会委員、特に会計は決算と予算の編成に忙しい日が続きます。

バチラー保育園のクリスマス会はホールに大勢のご家族と保護者を迎え溢れんばかりでした。この町にクリスマス

の息吹を伝える一コマでした。

▽旭川聖マルコ教会

一二月一〇日、イエス様のご降誕と教会へのお招きを近隣家庭にお知らせするチラシ配布を祈りを込めて実施。一三、二〇日の二回に亘り、降臨節集会を牧師館で行う。牧師ご夫妻の説明付の、写真でみるイングランド、アイerland、スコットランドの旅を居ながら楽しむ。一六日は頌栄保育園のクリスマス会、一七日は、山崎さんによるみ言葉の礼拝、二三日は、保育園卒園児と信徒の子どもを中心に子どもクリスマス会、夕方は、キャロリング。二四日はクリスマス大礼拝と祝会、夜の燭火礼拝と続いた。

祝！新年
▽新冠聖フランシス教会
各教会のみなさま、主のご降誕を慶び、新年の平安を祈り上げます。

昨年一二月一〇日は主さまの後期のご巡回をいただきました。楽しみにしておられた熊谷まき子さんは、都合で出席がかないませんでした

が、二四日のクリスマス礼拝にはお元気にお出でになられました。また、三石の田上美紗さん・ことねさん・こはるさん親子もお出でになり、みなで主のご降誕をお祝いしました。大久保健一さん・はるかさんご夫妻は転勤で、東京へ引越して行かれました。

▽帯広聖公会
李司祭より、ご家族との再会の喜びにあふれるメールが届く。降臨節、主教様、松井永谷司祭のご奉仕により礼拝が守られ感謝。二〇日、「クリスマス・キャロルを唄う会」が帯広厚生病院で行われ、闘病中の患者さんとの交わりを持つ。また、藤丸デパート前で十勝管内一教派四〇名余りでキャロリング。二三日、主教様、松井司祭によるクリスマス総員礼拝。高橋猷一さんの名司会で楽しい祝会。二四日キャンドルサービス、トロンボーンの調べの内にご降誕の喜びと、一年の御恵みに感謝の祈りが奉げられました。

▽新札幌聖ニコラス教会
二日(土)、二三年目となる北星学園女子中高ハンドベルクワイア演奏会に多数の観客を迎える。三日、植松主教巡回時に新井田淳也兄の洗礼堅信式が行われる。二四日の主日礼拝は上平仁志司祭司式、感謝。クリスマス祝会では「靴屋のマルチン」の影絵(愛あるところに神もある)を観劇。即席ハンドベル演奏後に、世界中の旅の終わりで車いすに乗せられたサンタは多弁な？トナカイの介助にて登場、これにも拍手喝采。ブレゼントを楽しみ、一六時よりキャンドル礼拝。二五日降誕日の横山司祭司式に感謝。三一日の最終主日は迎春準備。

▽札幌聖ミカエル教会
二三日は、日曜学校クリスマス。幼稚園の在園児の参加もあつて盛り上がる。二四日は朝から四つの礼拝。総員礼拝では、四名が洗礼の恵みにあずかる。祝会では今年も持ち寄りの食事をおいしくいただく。五時からの燭火礼拝は天候にも恵まれて一七〇名を

超える出席者。初めての方も多く迎えてご降誕を祝いました。一〇時半からの降誕日第一聖餐式は、一転して静寂のなかでご降誕の神秘に触れる。大晦日の夜、今年もまた主教様の司式によって祈りとともに新年を迎えました。

▽網走聖ペテロ教会
三日は婦人会、アイヌモシリの輪読、知らなかった歴史に触れています。一〇日の聖餐式に、斜里の山本寿子さんとその次男のお嫁さん出席。第三木曜の勉強会はマルコ五章。参加者の異なる読み取りに耳を傾ける、楽しい一時です。二四日瀧口兄の勧話。この秋、友と聖霊について話し、ずっと考えよハネを繰り返す読む中で得た感謝が語られました。夜イブ礼拝に、故佐藤愛一夫妻のご子息の妻、環さん出席。二五日祝会后、横川正敏さん宅に司祭夫妻と信徒で訪問。祈りの時を持ちました。祝会后水落し開始。

▽留萌キリスト教会
一二月は暴風雪と大波に見舞われ、港の灯台が一つ海に

消えました。突然の大雪で小林さんの農作業の片づけは半ばで雪に阻まれました。気候変動の脅威を感じます。

二四日のイブ礼拝は例年通り招待者を招いて大礼拝と祝会を行いました。金岩さんの五人目の曾孫さんも母や祖母に抱かれて初めてのクリスマスをお祝いしました。

働き手は体調不良の者も居ましたが、元気で働く天使が遣わされて助けられました。

▽聖マーガレット教会

一月二九日、マリア小林静子姉が天に召されました、魂の平安を祈ります。

三〇日には聖餐式後に有志でクリスマスツリー等の準備をしました。

一二月二四日には、聖餐式後の午後二時三〇分から子どもクリスマス、午後五時からキャンドルサービス、午後七時からクリスマス祝会、午後一〇時から降誕日深夜礼拝、二五日には降誕日聖餐式、司祭は二五〜七日の間で家庭訪問(聖餐)、とイエス様のご降誕を祝う礼拝を終えまし

た。

二五日には新教会委員も選出されました。

▽紋別聖マリヤ教会

今年も残り少なくなつて来ました。幼稚園では、一六日市民会館でクリスマス発表会が行われ、このことは今年始めての試みでしたが、園児たちの歌や踊りに歓声があがりました。二二日は、幼稚園の終業式が行われました。二四日、教会のクリスマス礼拝を幼稚園ホールで行い、父母園児四〇人が来て下さり大盛況でした。サンタに扮した園長先生から皆にプレゼントを渡して下さり、皆さん嬉しそう

でした。

▽深川聖三一教会

一二月三日全員でクリスマス案内状の発送作業をする。今年最後の委員会、今年度の反省を議題とす。六日保育園の光の子の礼拝、園児たちクリスマスお祝い会の練習に汗をかいてます。一四日職員会議、西村主任から食物アレルギーへの対応を学ぶ。一六日岩見沢へ、一九日稚内へ石坂

司祭出向す。二四日クリスマス・イブ礼拝が石坂司祭司式説教、古式豊かに捧げられる。二五日クリスマス礼拝と役員選挙が行われる。三〇日マリヤ岡本妙子さん天国へ召される。魂の平安を祈願します。

車中のボトルは勿論のこ

▽北見聖ヤコブ教会

二四日(日)クリスマス礼拝を一三名で捧げ「心の馬小屋」について黙想。礼拝後は美味しい食事をいただきながら楽しい祝会の時を持ちました。二六日(火)は梅澤家、二九日(金)は中西家で逝去者記念の式が行われました。

響で豆類や甜菜等多くの作物が収穫されずに畑に残ったままの所も有り、耕作者の無念が手に取る様に伝わりました。そんな中、二五日に予定していたクリスマス礼拝も暴風雪波浪警報により二八日に延期、祝会も簡素化して何とか無事に降誕日を祝えた事に感謝致します。当日は、礼拝風景を取材しに読売新聞社のカメラマンの方が来教され、皆心なしか緊張している様子でした。

Y M C A クリスマスが九日(土) 端野グリーンホールで、子どもクリスマスが一九日(火) 北見Y M C Aで行われました。新年度の総会は一月二一日(日)に行われます。

今年も降臨節を迎え、準備万端というには、心の準備だけとなりました。根雪が例年に比べ一カ月も早く訪れた影

響で豆類や甜菜等多くの作物が収穫されずに畑に残ったままの所も有り、耕作者の無念が手に取る様に伝わりました。そんな中、二五日に予定していたクリスマス礼拝も暴風雪波浪警報により二八日に延期、祝会も簡素化して何とか無事に降誕日を祝えた事に感謝致します。当日は、礼拝風景を取材しに読売新聞社のカメラマンの方が来教され、皆心なしか緊張している様子でした。

二五日五時から大町司祭による主のご生誕聖餐式。他教会の上野夫妻も来られ、共に雑事を忘れイエス様のみ思いを馳せる。レンブラントの絵を見ながら闇から光が生まれた喜びに感謝。式後赤飯おでん他に舌づつみを打つ。

一〇日、苦小牧の吉野司祭と二人の方が見えられ共に祈る。

二四日クリスマスイブキャンドルサービス。二五日降誕日礼拝。二六日リベリナ教区訪問団(沖田真一さん、宮本樹さん、服部優奈さん、吉野公恵さん) オーストラリアへ出発。旅路の平安を祈る。

一〇日、苦小牧の吉野司祭と二人の方が見えられ共に祈る。

二五日五時から大町司祭による主のご生誕聖餐式。他教会の上野夫妻も来られ、共に雑事を忘れイエス様のみ思いを馳せる。レンブラントの絵を見ながら闇から光が生まれた喜びに感謝。式後赤飯おでん他に舌づつみを打つ。

二五日五時から大町司祭による主のご生誕聖餐式。他教会の上野夫妻も来られ、共に雑事を忘れイエス様のみ思いを馳せる。レンブラントの絵を見ながら闇から光が生まれた喜びに感謝。式後赤飯おでん他に舌づつみを打つ。

二五日五時から大町司祭による主のご生誕聖餐式。他教会の上野夫妻も来られ、共に雑事を忘れイエス様のみ思いを馳せる。レンブラントの絵を見ながら闇から光が生まれた喜びに感謝。式後赤飯おでん他に舌づつみを打つ。

東京の齊藤篤さん(齊藤司祭ご子息) から毎年書籍、DVD等送られる。感謝。

三一日は主婦が忙しいので?み言葉の礼拝お休み。

▽札幌キリスト教会

一日ヒュイオス高橋力雄さんの葬送式が執り行われる。三日午後四時半新しい十字架の祝別と点灯式を行う。

一七日植松主教による巡回マリヤ津田聖美さんとマリヤ柴田利恵さんが、堅信の恵みに、この日の夕刻より植松主教の司式・説教で、英語での聖餐式が捧げられる。

二四日クリスマスイブキャンドルサービス。二五日降誕日礼拝。二六日リベリナ教区訪問団(沖田真一さん、宮本樹さん、服部優奈さん、吉野公恵さん) オーストラリアへ出発。旅路の平安を祈る。

二四日クリスマスイブキャンドルサービス。二五日降誕日礼拝。二六日リベリナ教区訪問団(沖田真一さん、宮本樹さん、服部優奈さん、吉野公恵さん) オーストラリアへ出発。旅路の平安を祈る。

二四日クリスマスイブキャンドルサービス。二五日降誕日礼拝。二六日リベリナ教区訪問団(沖田真一さん、宮本樹さん、服部優奈さん、吉野公恵さん) オーストラリアへ出発。旅路の平安を祈る。

二四日クリスマスイブキャンドルサービス。二五日降誕日礼拝。二六日リベリナ教区訪問団(沖田真一さん、宮本樹さん、服部優奈さん、吉野公恵さん) オーストラリアへ出発。旅路の平安を祈る。

二四日クリスマスイブキャンドルサービス。二五日降誕日礼拝。二六日リベリナ教区訪問団(沖田真一さん、宮本樹さん、服部優奈さん、吉野公恵さん) オーストラリアへ出発。旅路の平安を祈る。

二四日クリスマスイブキャンドルサービス。二五日降誕日礼拝。二六日リベリナ教区訪問団(沖田真一さん、宮本樹さん、服部優奈さん、吉野公恵さん) オーストラリアへ出発。旅路の平安を祈る。

お詫びと訂正
先月号に誤りがありました。左記のように訂正して下さい。
誤 管区聖職常議員
正 管区総会聖職代議員
誤 管区信徒常議員
正 管区総会信徒代議員